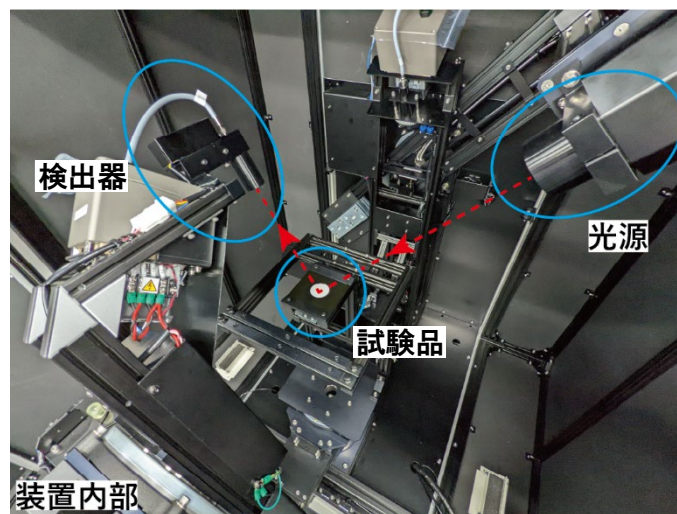


試験前のご確認事項
および
試験品準備方法

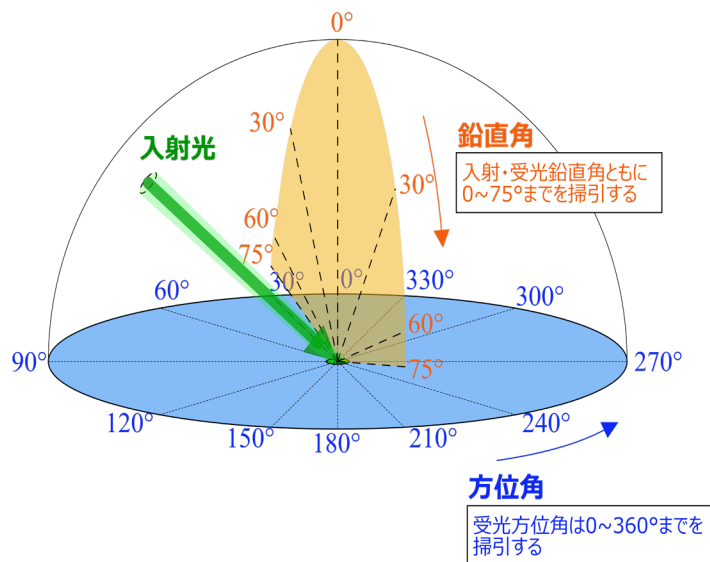
試験前のご確認事項

測定方法



測定には(株)村上色彩技術研究所のGCMS-11を使用しています。GCMS-11では、試料内の測定点を中心とした球面上に光源と検出器を配置し、これらを様々な位置に移動させ、光の照射と検出を行うことで測定を行います。検出器には分光器を採用しており、波長毎（380～780nm,5nm間隔）の測定が可能です。装置の詳細は[こちら](#)をご参照ください。

測定可能範囲



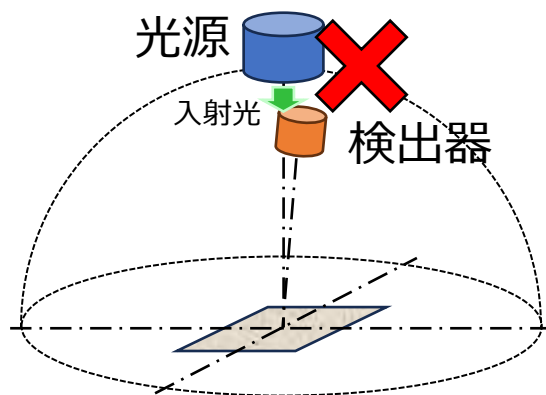
方位角・鉛直角の定義

	測定可能範囲
入射方位角	0°~359°
入射鉛直角	0°~75°
受光方位角	0°~359°
受光鉛直角	0°~75°
最小角度間隔	鉛直角、方位角ともに1°

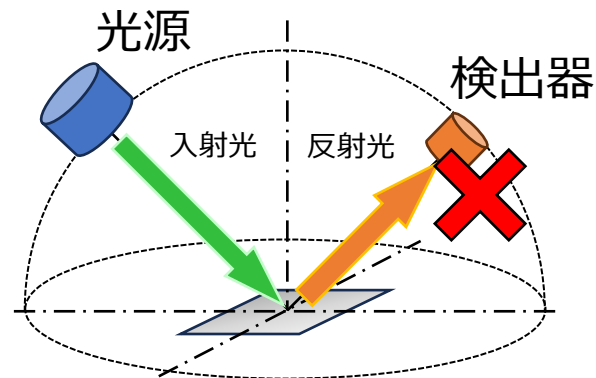
※光源と検出器をそれぞれ指定角度に移動して測定するため、測定条件が増えるほど測定時間が長くなります。測定条件数が膨大な場合、試験を受託できない場合がございます。

※光源・検出器の移動精度は±0.5°となります。

測定不能角



①入射光がさえぎられる角度



②反射光強度が感度上限を超える角度

以下の角度条件では測定できません。

①装置の構造により測定できない場合

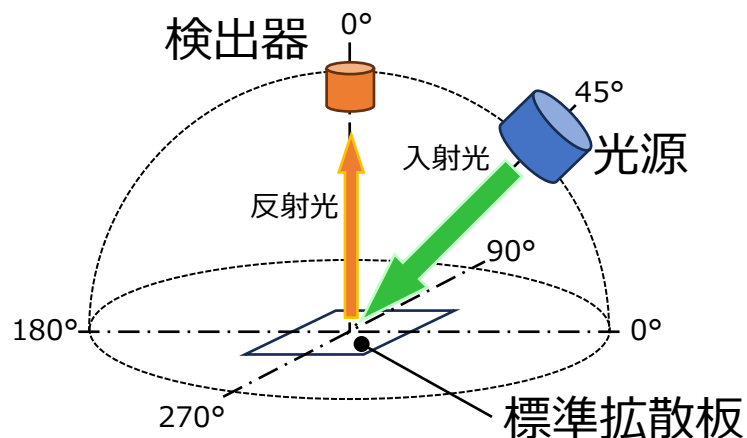
測定装置の構造により、照射光が検出器や走査用アームでさえぎられ、測定ができない角度が存在します。

②反射光強度が非常に強い場合

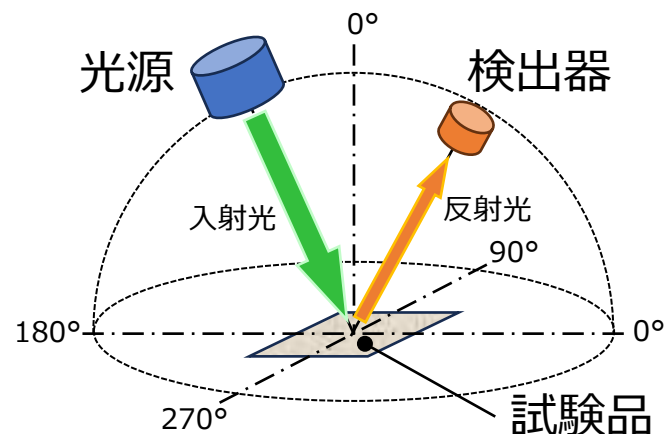
ミラーなどの鏡面反射が強い試験品の場合、反射光強度が検出器の感度上限を超え、一部角度で測定ができない場合があります。

ご署名済みの申込書を受領後に、順次測定不能角の検証測定を行います。
検証後、結果をお伝えしますので、本測定を行うかご判断いただければと存じます。

測定値について



45°入射0°受光条件における
標準拡散板の反射光強度測定



各角度条件における
試験品の反射光強度測定

標準拡散板に鉛直角45°方向から光を入射したときの鉛直角0°方向の反射光強度を分母、試験品の各測定角度方向における反射光強度を分子として比を算出しています。算出した比に対し、標準拡散板の絶対反射率を掛けた値が測定値となります。百分率表記ではありません。測定値の単位は1/srではなく、無次元となります。

※ 1/srの単位で測定結果をご要望の方は事前にご連絡ください。

納品データについて

サンプル
情報※

測定日時

角度条件

各波長における
測定値

測定情報※

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	試料名	コメント	所属及び氏名	日付	時刻	入射角	受光角	入射方位角	受光方位角	380nm
2				2023/7/6	11:18:42	0	0	0	0	***.***
3				2023/7/6	11:18:42	0	5	0	0	***.***
4				2023/7/6	11:18:42	0	10	0	0	***.***
5				2023/7/6	11:19:00	0	15	0	0	0.9889
6				2023/7/6	11:19:04	0	20	0	0	0.9834
7				2023/7/6	11:19:08	0	25	0	0	0.9782
8				2023/7/6	11:19:12	0	30	0	0	0.9712
9				2023/7/6	11:19:15	0	35	0	0	0.9632
10				2023/7/6	11:19:19	0	40	0	0	0.9528
11				2023/7/6	11:19:23	0	45	0	0	0.944
12				2023/7/6	11:19:27	0	50	0	0	0.9299
13				2023/7/6	11:19:31	0	55	0	0	0.9135

...

CL	CM	CN	CO	CP	CQ	CR	CS	CT	CU	CV	CW
780nm	露光時間	測定時間	波形	電圧	オフセット	フィルタ	周波数	デューティ	T 1	T 2	ゲイン
.	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
.	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
.	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.9812	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.9766	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.972	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.9629	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.9545	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.9482	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.935	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.923	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	
0.9073	0	0	未使用	0	0	0	0	0	0	0	

※都産技研では使用していません

- 納品データには、角度条件・各波長における測定値を記載しています。測定不能角における値は***.*** で表示しています。受付票にサンプルデータを記載しています。
- 測定値からD65光源・視野2度の各種測色値（XYZ, L*a*b*, ... etc）も出力可能ですので、必要な場合はご相談ください。

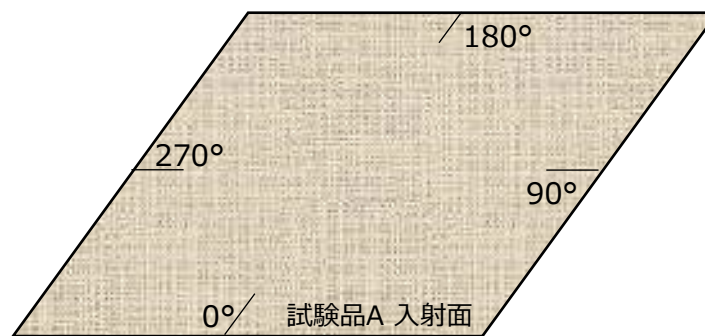
試験品の準備方法

測定可能な試験品サイズ

- 試験品外寸：200 mm角未満
- 測定可能範囲寸法：40 ×40 mm 角以上
- 厚み：50 mm未満
- 重量：200 g未満

- ※ 測定可能範囲寸法とは、試験品の表面及び裏面において測定を阻む傷やよごれ、凹みなどがない領域を指します。
- ※ 試験品は、両面とも平坦かつ曲率の無いものに限りです。段付き試験品など表面に段差が有る場合は別途ご相談ください。
- ※ 試験品は測定可能範囲を一様なものとして扱う為、測定部位の詳細な指定はできません。
- ※ その他、試験受付後であっても、試験品によっては試験を実施できない場合がございますので予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

試験品へのマーキング



- 試験品に、“試験品名称 入射面”をご記入ください。試験品名称は試験受付票にご記入いただいた名称と同一のものをご利用ください。入射面と記載のある面に光を入射して測定を行います。
- 試験品の方位角が分かるように目印線および 0° , 90° , 180° , 270° の文字をご記入ください。 0° – 180° 方向、 90° – 270° 方向の交点を測定中心として測定を行います。
- 測定中心に対して直径40mm以内にマーキングが被らないようご注意ください。

試験品の受渡方法

- 試験品は、原則として配送いただきますようお願いいたします。
- 試験品の取違いや紛失を防ぐため、品名の記入欄に、発行された試験申込書PDFに記載の試験受付番号(20XX依物光第〇〇号)を明記していただくようご協力をお願いいたします。
- 試験受付番号の明記がない場合、確認等で時間を要するために試験の開始が遅れる可能性がありますので、ご注意ください。

[illegible]

試験品の返却方法

- ・試験品は、原則として配送にて返却いたします。
- ・ヤマト運輸かゆうパックの着払い伝票をご同梱下さい。
- ・お届け先とご依頼主の両枠に御社ご住所と、御社ご担当者名をご記入ください。

品名欄に、試験受付番号（20XX依物光第〇〇号）
および試験品名称をご記入ください

この画像は、ヤマト運輸のゆうパック着払い伝票のフォーマットです。赤い枠で囲まれた箇所は、以下の通りです：

- 「御社ご住所」欄（宛先住所）
- 「御社ご担当者」欄（宛先担当者）
- 「御社ご住所」欄（依頼主住所）
- 「御社ご担当者」欄（依頼主担当者）

伝票の上部には「大切なお荷物を、しっかりと丁寧にお届けします。」というメッセージとQRコードが記載されています。

ゆうパック着払い伝票

この画像は、クロネコヤマト宅急便着払い伝票のフォーマットです。赤い枠で囲まれた箇所は、以下の通りです：

- 「御社ご住所」欄（宛先住所）
- 「御社ご担当者」欄（宛先担当者）
- 「御社ご住所」欄（依頼主住所）
- 「御社ご担当者」欄（依頼主担当者）

伝票の上部には「お客様へのお便り」という欄があり、679-2370-2431という番号が記載されています。

クロネコヤマト宅急便着払い伝票

お届け先、ご依頼主は両方同じ内容をご記入ください。
ご依頼主記入欄は「同上」でも結構です。

お問い合わせ先

ご不明点等ございましたら
shoumei@iri-tokyo.jpまでご相談ください。